



AI が示す

更家 太郎 様

の各病気の起こりやすさ

生活習慣病	5 年発症率	10 年発症率	相対リスク比	昨年の相対リスク比
糖尿病	21.5 %	38.4 %	1.2	
高血圧	13.5 %	25.2 %	1.3	
脂質異常症	9.8 %	18.7 %	1.5	
痛風	5.1 %	10.0 %	2.2	
鉄欠乏性貧血	3.4 %	6.8 %	0.5	

循環器疾患	5 年発症率	10 年発症率	相対リスク比	昨年の相対リスク比
労作性狭心症	4.3 %	8.5 %	0.7	
急性心筋梗塞	1.1 %	2.2 %	1.0	
心不全	1.8 %	3.6 %	0.6	
閉塞性動脈硬化症	1.0 %	2.1 %	0.6	
脳梗塞	2.6 %	5.1 %	0.7	

悪性腫瘍	5 年発症率	10 年発症率	相対リスク比	昨年の相対リスク比
肺がん	2.6 %	5.2 %	0.7	
大腸がん	6.0 %	11.6 %	0.8	
胃がん	4.4 %	8.6 %	0.7	
すい臓がん	1.9 %	3.7 %	0.7	
子宮頸がん				
乳がん				
前立腺がん	1.7 %	3.4 %	0.4	

神経疾患	5 年発症率	10 年発症率	相対リスク比	昨年の相対リスク比
うつ病	3.5 %	6.8 %	0.9	



AI が示す

更家 太郎 様

のリスク因子と予防策

AIのアドバイス

あなたの病気へのかかりやすさには次のことが強く関わっていると、AI が示しました。

※同じ疾患でも原因は人によって異なります。

● 生活習慣病

糖尿病

塩分を抑えたバランスのとれた食事や適度な運動を心がけましょう。
適度な運動や健康的な食生活（野菜や果物、魚など）を心がけましょう。
適度な運動の励行と、アルコールや脂肪の多い食品を抑えてください。

高血圧

塩分を抑えたバランスのとれた食事や適度な運動を心がけましょう。
適度な運動の励行と、アルコールや脂肪の多い食品を抑えてください。
お酒は控えめにしましょう。お酒がこの病気の原因になることがあります。

脂質異常症

適度な運動の励行と、アルコールや脂肪の多い食品を抑えてください。
肝臓に負担がかかっている可能性があります。食生活をお気を付けください。
糖尿病に気をつけてください。運動習慣・食生活などの見直しをお願いします。

痛風

対応としては適切な食事と運動を心がけて尿酸値をコントロールしましょう。
適度な運動の励行と、アルコールや脂肪の多い食品を抑えてください。
塩分を抑えたバランスのとれた食事や適度な運動を心がけましょう。

鉄欠乏性貧血

適度な運動や健康的な食生活（野菜や果物、魚など）を心がけましょう。
糖尿病に気をつけてください。運動習慣・食生活などの見直しをお願いします。
肝臓に負担がかかっている可能性があります。食生活をお気を付けください。

● 循環器疾患

労作性狭心症

肝臓に負担がかかっている可能性があります。食生活をお気を付けください。
塩分を抑えたバランスのとれた食事や適度な運動を心がけましょう。

急性心筋梗塞

朝食をお取りいただけるとこの病気の発症リスクを抑えることができます。



AIによる 更家 太郎 様の健康予報

● 循環器疾患

労作性狭心症

いま >>> みらい



労作性狭心症は、心臓自体に血液を届けている冠血管が、動脈硬化などにより細くなったり詰まったりする病気です。胸が痛い、重苦しいなどの症状が出現します。高血圧・脂質異常症・糖尿病・喫煙・肥満などが危険性を高める原因として知られています。治療は、硝酸薬やCa拮抗薬などの薬物療法、カテーテルによる治療、バイパス手術などの外科的治療があります。

急性心筋梗塞

いま >>> みらい



急性心筋梗塞は心臓に血液を送り込んでいる冠血管が詰まってしまい、心臓の筋肉が死んだ結果、心臓のポンプ機能が破綻する病気です。冠動脈の動脈硬化と粥腫(冠動脈のニキビのようなもの)の破裂が、主な原因と考えられています。高血圧・脂質異常症・糖尿病・喫煙・肥満などが危険性を高める原因として知られています。治療方法は、薬物による血栓溶解療法、カテーテルによる再疎通治療、冠血管バイパス手術などです。

心不全

いま >>> みらい



心不全とは、心臓のポンプ機能が低下する病気です。ポンプ機能が低下するため、筋肉や各臓器に十分に血液がいきわたらず「疲れやすい」、「だるい」といった症状が出たり、血液が肺や各臓器にうっ滞することで息苦しさを感じたり、脚にむくみが出たりします。治療は、薬物、ペースメーカー治療、心臓外科的治療、左室補助循環装置、心臓移植などいろいろあります。肥満、加齢、甲状腺機能の異常などが発症の危険性を高める原因として知られています。

閉塞性動脈硬化症

いま >>> みらい



閉塞性動脈硬化症は、全身の血管の動脈硬化が原因となって発症する病気で、下肢の血管において発症することが多いです。糖尿病・高血圧・高脂血症・肥満・喫煙などが危険性を高める原因です。筋肉に血液が行きわたらないため、しばらく歩くと痛みが現れます。これを間欠性跛行と言いますが、運動療法や薬物療法が行われます。さらに血管狭窄の程度が強くなると、カテーテル・外科的治療が必要となります。

脳梗塞

いま >>> みらい



脳梗塞は、脳の血管が突然詰まって、脳細胞の一部が死んでしまう病気です。このため上半身・下半身・左右半身麻痺などの重大な後遺症を残したり、生命に関わってしまったりすることもあります。高血圧・脂質異常症・糖尿病・喫煙などが危険性を高める原因として知られています。CTやMRIなどの画像検査で診断されることが多く、治療は薬物治療を基本として、急性期であればカテーテルを用いた血管内治療が行われることもあります。